

市原湖畔美術館
夏のこどもキャン
プレポート



開発好明と夏のこどもキャンプを開催しました！

作家：開発好明（かいはつ よしあき）
日時：2013年8月10日（土）10:00～11日（土）12:00
対象：小学生
主催 市原湖畔美術館
協賛 ホルベイン画材株式会社・ホルベイン工業株式会社

2013年8月10日（土）から11日（日）にかけて、市原湖畔美術館での初のこどもむけイベント「アーティスト開発好明と夏のこどもキャンプ」を開催。13名の元気なこどもたちが市原湖畔美術館で楽しい一泊二日を過ごしました。

今回のキャンプの使命は、実は市原市に出現するという巨人「デーテツポ」から市原湖畔美術館を守ること。アーティスト開発好明は、自ら隊長となり、市原湖畔美術館防衛本部を立ちあげて、勇気ある仲間を募集しました。そして、1年生から6年生までの隊員が集合し、防衛業務につとめました！

初日は、まず、入隊検査を受けるところからスタート！そして最初のお仕事は、竹とひもを使ったテントの骨組み作り。みんな5本の竹をひもでぎゅっとしばって、竹を立てかけ、ひもをぐるぐると巻きしぼる。1.5mから4mまでのテントの骨組みを6つ一緒に完成させました。

昼食を挟んで午後からは、テントの布地作り。ミシンで布を縫い合わせるチームと、布に海の生き物の絵を描くチームに分かれて作業しました。デーテツポは海の生き物が苦手。テントに描くことで近づけないようにしてるのです！暗くなったあとは、夜光の塗料で凧に海の生き物を描き、芝生で凧揚げをして、夜の警備も忘れません！そして、テントの中でみんなが就寝。

2日目は、予定では朝7時の起床です。しかし、隊員たちは5時には元気でした。起きたら、外にデーテツポの足跡が…。隊員たちはデーテツポ来たと信じていました！朝はみんな海生物の帽子を作り、帽子をかぶってみんなが貝殻の宝さがしゲーム。そのまま隊員たちは、美術館内の視察です！屋上のヴェイト・アコンチの作品が大人気です。みんなが片付けをして、二日間の任務は完了！最後に隊長から修了証書をもって解散しました！

終了時には、「楽しかった。帰りたくない。」「来年は隊長として参加したい！」「デーテツポが来た！」「2年生になったらまた来るね！」といった声が寄せられ、大変有意義なキャンプとなりました。もりだくさんな内容で、子どもたちの笑顔がいっぱい見られた日々でした。隊長をつとめ、隊員を統率していただいた開発好明さん、ご協力いただいたボランティアスタッフのみなさま、どうもありがとうございました！

みんな、お友達を誘って、また来年も参加してくださいね！

ただいま、美術館内多目的ホールでは、今月末までこどもキャンプの記録展示を行っています。

